

仙台医療圏市町村からの意見（10/13市町村説明会後に提出された意見）

市町村名	市町村回答
仙台市	<p>本市からの意見は別添の「宮城県が公表した「政策医療の課題解決に向けた県立病院等の今後の方向性について」に関する本市の考え（概要版）」（資料3-2）のとおりです。</p>
塩竈市	<p>県民の医療受診機会を将来的に確保するとともに、利便性及び効率性を向上させる観点から、各医療分野の抱える課題に応じ、地域バランスに配慮した医療機関の配置を望みます。</p> <p>なお、病床数については統合の影響を受けることから、周辺地域の入院患者数等を鑑みて十分検討いただきたい。</p>
名取市	<p>新病院の新たな枠組みとしての4病院の連携・統合の方向性については、説明会において提示いただきました資料にご異議ありません。</p> <p>本市を含む名取川以南のエリアには地域医療支援病院がなく、これまで周辺地域の医療機関に頼ってきました現状でありますので、説明会でも申し上げたとおり、県立がんセンターと仙台赤十字病院の統合による新病院を名取市に配置いただけるよう、引き続き要望してまいります。</p>
多賀城市	<p>政策医療の課題解決に向けた県立病院等の今後の方向性については特に意見はありませんが、今後、病院の機能、立地場所、病床規模等の検討を進めるに当たっては、仙台医療圏住民の「医療を受ける機会」が制限されることのないよう十分に考慮願います。</p>

市町村名	市町村回答
岩沼市	<p>政策医療の課題として、救急搬送受入機能や周産期高度医療施設が仙台市内に偏在、集中していると提起されているが、高度医療機能の拠点をどこに置くか議論する場合、周辺の一次、二次医療機関とどう連携するか（例えばスムーズな救急搬送を実現するソフト面の体制なども含め）、それぞれの医療施設の役割分担を明確化することが大事だと考える。</p> <p>特に周産期医療については、三次のみならず一次、二次医療機関がきちんと機能し連携することで安全・安心な地域医療体制が構築されると考えるが、現状では既に二次医療機関がない地域もある。よって、今回の県立病院等の統合再編などの地域医療体制並びに地域医療計画の見直しについては、事前に地域の意見を良く聞いた上で検討を進めてほしい。</p> <p>その際、一次、二次医療を担う分娩取扱診療所の機能について現状分析の上、高度医療施設に偏りがちな国、県の財政支援を一次、二次医療機関に拡充することも検討願いたい。現在、岩沼市にあるスズキ記念病院は、県南部の分娩をカバーしながら生殖医療、産後ケアなどをトータルに展開し1.5次機能を担っているほか、多くの実習生の受け入れや助産学校を併設するなど助産師をはじめ周産期医療を担う人材育成に大きく貢献している。このように多様な機能を持つ一次医療機関が地域に存在していることを県はしっかりと評価し支援願いたい。</p> <p>さらに、仙台赤十字病院の移転、統合については、宮城県周産期・小児医療協議会など関係機関の意見を聞くとともに、県内の出生数、周産期医療を提供する医療施設数と規模、産科病床の状況、カバーエリアなど地域医療への影響をしっかりと分析し、多様な機能を持つ既存の一次医療機関に大きな影響を及ぼさないよう配慮の上、検討されることを強く申し述べたい。</p>

市町村名	市町村回答
富谷市	<p>本市では、人口増加が続き、企業立地も進んでいる中、急性期を担える病院がなく、長年、地域医療の課題となっておりました。また、公立黒川病院では、急性期と救急医療を担うのは難しく、市民アンケートにおいても総合病院の必要性が挙げられるなど、病院整備に対する市民の要望も高い状況にあります。</p> <p>この度、県から新たに示されました新病院の枠組み等につきましては、既存病院の機能を活かしつつ、救急医療や災害医療体制の強化が図られるなど、地域医療の課題解決に繋がる取組であり、仙台医療圏はもとより、全県的にも非常に意義のあるものと捉えております。</p> <p>本市におきましては、当該方針に賛同するとともに、建設用地の確保や運営支援等を行う考えでありますので、是非とも富谷市内への建設をお願い致します。</p>
亘理町	<p>今回、宮城県より提示された内容は全般的に、今後の地域医療体制の確保を十分に考慮していただき、期待が持てる内容であると考えております。</p> <p>日本赤十字社（仙台赤十字病院）と県（県立がんセンター）の統合新病院が名取市に立地されることが前提とはなりますが、特に、資料の中の「新病院の目指すべき姿・枠組み」に記載があります「がん医療」「救急医療」「周産期医療」「地域医療支援病院」等の役割については、2市2町（名取市・岩沼市・山元町・亘理町）の地域医療が前進できる内容と考えております。</p> <p>なお、政策医療の課題の全般に、「医療機能の都市部集中傾向」があると考えておりますが、資料の中では、「具体的な立地場所については、交通の利便性や必要敷地の規模、地域の理解等を踏まえて検討を進める。」とのことですので、今後においても、何卒、地域医療体制の充実・発展を視野に入れ検討を進められますようお願い致します。</p>

市町村名	市町村回答
山元町	<p>仙台医療圏4病院の再編について</p> <p>名取がんセンターを含めた病院再編について、特に名取市を受け皿にという考えは、以前から、県南4市9町で構成する県南サミット、亘理地方町会首長の総意であり、要望を行ってきた。</p> <p>今般の「政策医療の今後の方向性」について県より「新病院を名取市と富谷市に」という説明が行われたことは、今後に期待する。</p> <p>また、仙南圏域の周産期医療の体制が脆弱という状況から、今回説明のあった仙台赤十字の移転に伴う周産期の医療体制について、産科機能が近くに整備されることは、子育て施策を掲げる本町においても早期にと願うものである。</p> <p>今後、ますます仙台医療圏の推進に繋がると考えられ、早期の再編を期待している。</p>
松島町	<p>仙台医療圏における県立病院等の再編にあたっては、周辺地域の拠点医療機関としての役割を十分に果たしつつも、住民に対しては十分に受診機会が提供されるよう、また、設置場所や再編の内容に関わらず、公的な病院としての機能を維持していただくよう要望いたします。</p>
七ヶ浜町	<p>政策医療の課題解決に向けた県立病院等の今後の方向性についてということで、今回正式に宮城県より説明があったが、これまでの関係機関や関連自治体との協議の経過がわからないため、県で提示した今回の資料だけでは、妥当性の判断はできない。</p> <p>将来的な仙台医療圏全体の状況や宮城県全体の医療圏の考え方を詳しく提示していただいたうえで、仙台医療圏構成自治体の意見集約をしていただき、宮城県の計画に反映していただきたい。</p>

市町村名	市町村回答
利府町	<p>県立病院や仙台赤十字病院、東北労災病院の統合に関しては、経営状態や施設老朽化問題、仙台医療圏の中で、仙台市内に中核となる病院が集中していることの解消など課題解決のためにも必要性を感じることから、賛同します。</p> <p>また、以下の点は、資料等があれば提示していただきたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①それぞれの業院が統合したあとの病床数 ②統合までのスケジュール ③病院統合後の周辺の交通網、経済への影響等のシミュレーション <p>そのほか、県立病院としての精神医療センターは、24時間 精神科救急医療体制を敷き、県内の重要な役割を果たしていることから、病院が統合された後については、これまでと同様の体制を確保していただけるよう要望します。</p>

市町村名	市町村回答
大和町	<p>本町としては主に次の理由により、今後の方向性に賛成の立場である。</p> <p>①仙台市内への搬送に依存していた救急搬送時間の短縮が図れること。</p> <p>②仙台医療圏内の災害拠点8病院のうち、仙台市外は総合南東北病院（岩沼市）、坂総合病院（塩竈市）の2病院のみで、富谷・黒川地域の空白地帯の解消が図られること。精神医療等の他分野でも同様の効果が期待されること。</p> <p>③これまでは仙台医療圏として、仙台市内・仙台市外が一つとして論じられてきた感が強いが、今回の議論は仙台市内に集中する医療体制の均てん化を進めるという点では仙台市外の自治体にとっては大きな意義あるものであること。</p> <p>④これまで富谷・黒川地域の中核を担ってきた「公立黒川病院」等との連携により、本地域内において二次・三次医療機関の地域医療体制構築が図れること。</p> <p>なお、実施にあたっては移転先の地域医療への影響が大きいことから、次のことに十分に留意され検討をお願いする。</p> <p>①富谷・黒川地域の中核を担ってきた「公立黒川病院」との連携、役割の明確化等を図り、「公立黒川病院」の経営面への影響が及ぶことがないよう考慮願いたい。</p> <p>②可能な限り多くの賛同を得るため、宮城県地域医療構想調整会議、黒川地区地域医療対策委員会、黒川医師会等での意見聴取も検討いただきたい。</p>
大郷町	<p>黒川管内に統合医療機関が整備されることは、救急医療をはじめとした医療体制の改善に寄与するものと期待します。</p> <p>高齢化が顕著となり、医療ニーズはますます増大しております。医療を要する住民がいつでも安心して必要な医療を受けることができるよう、早急な整備をお願いいたします。</p>

市町村名	市町村回答
大衡村	<p>「救急医療について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川郡内では、急性期や救急医療を担う医療機関が黒川病院に限られており、仙台市内の医療機関に搬送されるケースが多い。医療資源が都市部に集中することで搬送時間が長くかかり、適切な医療に繋ぐまでに時間を要している実態がある。近隣自治体に新病院が建設されることで、搬送時間が短縮されることを期待したい。 <p>「医療機関の偏在について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの総合病院では、常勤の専門医の数が限られており、希少疾患の治療や診療科の医師がいない場合は、仙台市内の医療機関を受診するケースがみられる。車で30分以上かかる通院は、特に高齢者にとって身体的・経済的に大きな負担になることから新病院が建設されることは、アクセス利便性の課題解決になると思われる。